



## 2025年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年11月13日

上場会社名 オールエル株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 7670 URL <https://www.owell.co.jp/>  
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 川戸 康晴  
 問合せ先責任者（役職名） 執行役員（氏名） 山田 麻紀子（TEL）06-6473-0138  
 半期報告書提出予定日 2024年11月13日 配当支払開始予定日 2024年12月3日  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 有（機関投資家、アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

## 1. 2025年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年4月1日～2024年9月30日）

## （1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	34,241	2.9	403	7.4	544	5.5	373	16.2
2024年3月期中間期	33,285	13.6	375	183.9	516	58.1	321	75.4

（注）包括利益 2025年3月期中間期 306百万円（△57.6%） 2024年3月期中間期 722百万円（326.8%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期中間期	36.45	—
2024年3月期中間期	31.44	—

## （2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期中間期	45,439	20,998	45.9
2024年3月期	48,425	21,002	43.1

（参考）自己資本 2025年3月期中間期 20,834百万円 2024年3月期 20,847百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	10.00	—	32.00	42.00
2025年3月期	—	10.00			
2025年3月期（予想）			—	25.00	35.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

（注）2024年3月期期末配当金の内訳 普通配当 22円00銭 記念配当 10円00銭

## 3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	72,000	1.3	1,150	23.6	1,350	11.3	900	△41.0

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無  
新規 一社(社名) 一、除外 一社(社名) 一

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年3月期中間期	10,500,000株	2024年3月期	10,500,000株
② 期末自己株式数	2025年3月期中間期	255,516株	2024年3月期	272,177株
③ 期中平均株式数(中間期)	2025年3月期中間期	10,232,648株	2024年3月期中間期	10,212,769株

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
(収益認識関係)	10

## 1. 当中間決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、緩やかな回復基調で推移いたしました。一方で、今後の国内外の景気動向は、米大統領選後の経済政策の動向、ウクライナや中東地域をめぐる紛争、物価上昇等の影響が懸念されていることから、先行き不透明な状況が継続すると推測されます。

当社グループはこのような状況のもと、「商材提供」型から「ワンストップソリューション提供」型へと提供価値を革新すべくセグメント名称を変更し、コーティング関連事業においては、培ってきた塗膜形成力を核(コア)とした機能拡大を図り、我々の新たな提供価値の創造を推進してまいりました。エレクトロニクス関連事業においては、我々の発揮する機能を、さらに付与し、拡大することに取り組んでまいりました。また、これらの事業を展開する上で、社会的責任を果たしながら、持続的な発展と成長を遂げるために、人的資本を充実させ、保有・調達する資源を、適切かつ効率良く活用することに努めてまいりました。

その結果、当社グループの当中間連結会計期間の業績につきましては、売上高は34,241百万円(前年同期比2.9%増)、営業利益は403百万円(前年同期比7.4%増)、経常利益は544百万円(前年同期比5.5%増)、親会社株主に帰属する中間純利益は373百万円(前年同期比16.2%増)となりました。

コーティング関連事業では、主たるお客様である自動車業界における国内生産台数は、前中間連結会計期間と比較して減少いたしました。塗装設備や塗装・計測機器分野の受注増等により売上高は増加しました。

その結果、コーティング関連事業の売上高は23,603百万円(前年同期比2.3%増)、セグメント利益は1,031百万円(前年同期比14.0%増)となりました。

エレクトロニクス関連事業では、主たるお客様である自動車業界における国内生産台数は減少したものの、為替が円安で推移したことにより売上高は増加しましたが、前連結会計期間の仕入価格改定に伴って在庫の平均単価が上昇したことにより利益額は減少となりました。

その結果、エレクトロニクス関連事業の売上高は10,637百万円(前年同期比4.3%増)、セグメント利益は327百万円(前年同期比20.3%減)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (流動資産)

当中間連結会計期間末における流動資産の残高は、前連結会計年度末の31,530百万円に比べ2,695百万円(8.6%)減少し、28,834百万円となりました。その主な内訳は、現金及び預金が997百万円、売掛金が1,365百万円、電子記録債権が407百万円それぞれ減少し、棚卸資産が179百万円増加したことによるものであります。

#### (固定資産)

当中間連結会計期間末における固定資産の残高は、前連結会計年度末の16,895百万円に比べ289百万円(1.7%)減少し、16,605百万円となりました。その主な内訳は、投資有価証券が231百万円減少したことによるものであります。

#### (流動負債)

当中間連結会計期間末における流動負債の残高は、前連結会計年度末の22,790百万円に比べ2,936百万円(12.9%)減少し、19,854百万円となりました。その主な内訳は、支払手形及び買掛金が1,340百万円、電子記録債務が279百万円、短期借入金が582百万円、未払法人税等が480百万円それぞれ減少したことによるものであります。

#### (固定負債)

当中間連結会計期間末における固定負債の残高は、前連結会計年度末の4,631百万円に比べ43百万円(0.9%)減少し、4,587百万円となりました。その主な内訳は、役員退職慰労引当金が17百万円、繰延税金負債が26百万円それ

ぞれ減少したことによるものであります。

(純資産)

当中間連結会計期間末における純資産の残高は、前連結会計年度末の21,002百万円に比べ4百万円(0.0%)減少し、20,998百万円となりました。その主な内訳は、利益剰余金が45百万円、繰延ヘッジ損益が55百万円、為替換算調整勘定が105百万円それぞれ増加し、その他有価証券評価差額金が209百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年5月14日に開示致しました「2024年3月期決算短信〔日本基準〕(連結)」に記載した連結業績予想数値から変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,393	5,396
受取手形	916	669
売掛金	13,220	11,855
電子記録債権	4,557	4,149
棚卸資産	6,021	6,201
その他	428	564
貸倒引当金	△7	△2
流動資産合計	31,530	28,834
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,526	1,493
機械装置及び運搬具(純額)	147	133
工具、器具及び備品(純額)	57	63
土地	1,833	1,833
リース資産(純額)	84	97
建設仮勘定	—	0
有形固定資産合計	3,650	3,623
無形固定資産		
ソフトウェア	341	291
のれん	11	8
その他	42	44
無形固定資産合計	395	344
投資その他の資産		
投資有価証券	11,410	11,178
長期貸付金	87	86
退職給付に係る資産	881	899
繰延税金資産	144	146
その他	406	405
貸倒引当金	△81	△78
投資その他の資産合計	12,848	12,638
固定資産合計	16,895	16,605
資産合計	48,425	45,439

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,084	12,743
電子記録債務	2,772	2,493
短期借入金	2,976	2,394
1年内返済予定の長期借入金	200	200
未払法人税等	632	152
契約負債	341	408
賞与引当金	477	491
その他	1,305	971
流動負債合計	22,790	19,854
固定負債		
長期借入金	1,450	1,450
退職給付に係る負債	206	215
役員退職慰労引当金	85	68
繰延税金負債	2,682	2,656
資産除去債務	42	42
その他	163	155
固定負債合計	4,631	4,587
負債合計	27,422	24,441
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	857	857
資本剰余金	766	773
利益剰余金	12,976	13,022
自己株式	△151	△142
株主資本合計	14,448	14,510
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,860	5,651
繰延ヘッジ損益	△6	49
為替換算調整勘定	335	440
退職給付に係る調整累計額	209	182
その他の包括利益累計額合計	6,398	6,324
非支配株主持分	155	163
純資産合計	21,002	20,998
負債純資産合計	48,425	45,439

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
売上高	33,285	34,241
売上原価	29,119	29,945
売上総利益	4,165	4,295
販売費及び一般管理費	3,790	3,891
営業利益	375	403
営業外収益		
受取利息	1	4
受取配当金	117	135
持分法による投資利益	17	29
為替差益	21	—
その他	25	33
営業外収益合計	183	201
営業外費用		
支払利息	23	30
為替差損	—	16
貸倒引当金繰入額	4	—
その他	15	13
営業外費用合計	43	61
経常利益	516	544
税金等調整前中間純利益	516	544
法人税、住民税及び事業税	196	122
法人税等調整額	△3	44
法人税等合計	192	166
中間純利益	323	377
非支配株主に帰属する中間純利益	2	4
親会社株主に帰属する中間純利益	321	373

中間連結包括利益計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
中間純利益	323	377
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	259	△209
繰延ヘッジ損益	9	55
為替換算調整勘定	130	116
退職給付に係る調整額	△11	△26
持分法適用会社に対する持分相当額	10	△6
その他の包括利益合計	398	△71
中間包括利益	722	306
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	714	298
非支配株主に係る中間包括利益	7	8

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前中間純利益	516	544
減価償却費	151	166
のれん償却額	2	2
貸倒引当金の増減額(△は減少)	4	△8
賞与引当金の増減額(△は減少)	6	12
品質保証引当金の増減額(△は減少)	7	—
退職給付に係る資産負債の増減額(△は減少)	△25	△48
長期未払金の増減額(△は減少)	1	△24
受取利息及び受取配当金	△119	△139
支払利息	23	30
持分法による投資損益(△は益)	△17	△29
売上債権の増減額(△は増加)	743	2,100
棚卸資産の増減額(△は増加)	△392	△138
仕入債務の増減額(△は減少)	△408	△1,667
その他	728	△338
小計	1,222	463
利息及び配当金の受取額	116	138
利息の支払額	△23	△30
法人税等の支払額	△190	△608
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,125	△36
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
投資有価証券の取得による支出	△33	△40
固定資産の取得による支出	△207	△49
短期貸付金の純増減額(△は増加)	△0	0
長期貸付けによる支出	△5	△4
長期貸付金の回収による収入	5	4
その他	0	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△241	△89
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	78	△583
リース債務の返済による支出	△35	△41
配当金の支払額	△208	△327
財務活動によるキャッシュ・フロー	△164	△951
現金及び現金同等物に係る換算差額	64	80
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	783	△997
現金及び現金同等物の期首残高	4,360	6,393
現金及び現金同等物の中間期末残高	5,143	5,396

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前中間連結会計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	中間連結損益 計算書計上額 (注) 2
	コーティング 関連事業	エレクトロニクス 関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	23,081	10,203	33,285	—	33,285
セグメント間の内部 売上高 又は振替高	1	458	459	△459	—
計	23,083	10,661	33,744	△459	33,285
セグメント利益	904	410	1,315	△939	375

(注) 1. セグメント利益の調整額△939百万円は、主に各報告セグメントに配分していない会社の本社部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	中間連結損益 計算書計上額 (注) 2
	コーティング 関連事業	エレクトロニクス 関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	23,603	10,637	34,241	—	34,241
セグメント間の内部 売上高 又は振替高	2	506	509	△509	—
計	23,606	11,144	34,750	△509	34,241
セグメント利益	1,031	327	1,358	△954	403

(注) 1. セグメント利益の調整額△954百万円は、主に各報告セグメントに配分していない会社の本社部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 当第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの名称を「塗料関連事業」から「コーティング関連事業」へ、「電気・電子部品事業」から「エレクトロニクス関連事業」へと変更しております。この変更はセグメント名称の変更であり、セグメント情報に与える影響はありません。また、これに伴い、前中間連結会計期間のセグメント情報も変更後の名称で表示しております。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前中間連結会計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント		合計
	コーティング 関連事業	エレクトロニクス 関連事業	
塗料・表面処理剤	14,432	—	14,432
化成品	4,636	—	4,636
機器	841	—	841
完成工事	770	—	770
その他	2,400	—	2,400
電気・電子部品	—	10,203	10,203
顧客との契約から生じる収益	23,081	10,203	33,285
外部顧客への売上高	23,081	10,203	33,285

当中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント		合計
	コーティング 関連事業	エレクトロニクス 関連事業	
塗料・表面処理剤	14,602	—	14,602
化成品	4,618	—	4,618
機器	972	—	972
完成工事	732	—	732
その他	2,677	—	2,677
電気・電子部品	—	10,637	10,637
顧客との契約から生じる収益	23,603	10,637	34,241
外部顧客への売上高	23,603	10,637	34,241